



フェリス女学院大学

Vol. 128  
2025 Winter

Campus News Magazine



{エフ}

フェリス女学院大学の  
「今」を伝える広報誌



教えて、学部長!

# グローバル教養学部

聞いてみました!



[Ferris Passage～先輩が歩む道]

音楽学部 音楽芸術学科  
長澤 彩さん

[退職する先生からのメッセージ]

文学部 コミュニケーション学科  
諸橋 泰樹教授

- \*学生課Column
- \*フェリス生頑張っています!
- \*フェリス生に聞いてみた
- \*学長Column
- \*フェリス検定

新分野が増えて、  
教育の質が変わることは  
ないのでしょうか。



フェリスの良いところは  
変わらず進化していくという  
ことで安心しました。

学部長 かなり以前から綿密に準備を

学部長 新カリキュラムの影響で、今あるものがなくなることはありません。私の「アメリカ史」の授業は、文学部の授業としても新学科の授業としても開講されます。これまでもあるものを圧迫せずにカリキュラムを組んでいます。ただし日本の大学が全般的に実学系にシフトする傾向があるのは事実です。そのため将来的に、今よりも実学系に重点が置かれる可能性はあります。そうなったとしてもみなさんの学びは卒業するまで変わりませんし、私たちも大切なものはきちんと守っていきたくと考えています。

学部長 とても大事な点ですね。グローバル化が進んだ今、海外に出ることは当たり前で、海外から日本にくる人も多くなります。そんな時代には、多様性を

グローバル教養を  
備えた人材とは、  
どのような人でしょうか。



学部長 私は今年の夏に、グアムでのインターシップに参加しました。他大学の友人と話す時、そうした大学は多くないようで、フェリスはグローバルな活躍をめざせる大学だと思えます。また、学内で留学生に日本語を教えるランゲージ・アシスタントも交わっています。学校以外から海外の方と交流できることはフェリスの良いところです。

学部長 他大学との連携にも力を入れています。フェリスにない学問分野を他大学の授業に参加して学ぶ事例も増えるでしょう。大学をより開いていくことで、学生同士の交流を盛んにし、世間で持たれがちな女子大の「囲われている」というイメージの刷新もできると良いですね。

K 大学が外に開いて交流が盛んになることは楽しみです。

I 1年次にそうした授業があると、その後の学修がスムーズになりそうです。

I 私はオーストラリアへの短期留学を経験し、文化に直にふれたことが印象的です。現在は、留学生の生活をサポートするメンターを務めていて、インドネシアの学生と友だちになりました。宗教のことなど、日本で過ごしているとはわからないことを知ることができています。

I 私たちもより広く学べるという点でも楽しんでいます。一方で、私はこれまでの学びがとも楽しく、そのいいところが失われてほしくないという気持ちもあります。学科名や専攻名に文学という言葉がなくなっていて、科目が増える分、今まで私が受けた英文学や梅崎先生の面白い授業などがなくなってしまうのではないかと気になります。



K さん

新しい科目にも  
興味が湧いてきました

お話をうかがって、抱えていた不安は解消されました。英語英米文学科でコツコツとリーディングや文法を学ぶのも楽しいのですが、社会での活躍に直結するような授業やプログラムにも興味が湧きました。



I さん

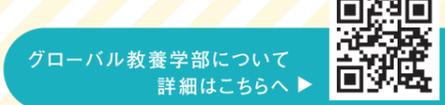
良い方向に変化していると  
安心できました

これまでフェリスで楽しく過ごしてきたので変化が不安でしたが、先生のお話で、良い方向に変わっていると感じました。また、時代とともに変わるべきこともあると知って、勉強にもなりました。

# Faculty of Global Liberal Arts 2025年4月 グローバル教養学部が 開設されます!

1学部3学科の  
構成へ

1965年の開学以来初となる全学改組で、「これからの世界を生き抜く力をもつ女性を育てる」ことを目指しています。



グローバル教養学部について  
詳細はこちらへ

## グローバル教養学部

- 国際社会学科**
    - 国際関係専攻
    - 地球社会・環境専攻
    - 国際ビジネス・観光専攻
  - 心理コミュニケーション学科**
    - 心理専攻
    - メディア専攻
    - 共生コミュニケーター専攻
  - 文化表現学科**
    - ヨーロッパ・アメリカ専攻
    - 日本・アジア専攻
    - 音楽・身体表現専攻
- 副専攻 ●ジェンダーとキャリア ●データサイエンス ●デザインと表現 ●音楽(※構想中)

【カリキュラムのポイント】 \*学科・専攻にかかわらず、他学科・他専攻の専門科目も履修できる。  
\*3・4年次は希望の専攻で専門分野を深め、社会に出る準備をする。

私たちがあれこれ伺います!



K さん 文学部 英語英米文学科 3年  
I さん 文学部 英語英米文学科 2年

教えて、学部長!

# グローバル教養学部

について  
聞いてみました!



梅崎 透  
新学部長

グローバル教養学部1学部とするのはどのような意図があったのでしょうか。

I 私もジェンダー関連科目や「グローバル経済史」など国際交流学部の授業を多く取っています。

K 私は文学部ですが、国際交流学部のジェンダーに関する科目や「北朝鮮現代史」、音楽学部の授業も取ったことがあります。

学部長 お二人が自分の興味で他学科の授業を取って世界を広げているように、各分野をより有機的につなげて学べることを目指しています。学部の壁があると、柔軟なカリキュラムをつくれないうちもあるのです。例えば、音楽学部で音楽を教えている土屋広次郎先生と、バインスタインの「ウエストサイドストーリー」を題材に「一緒に何かやりましょう」と10年くらい話しています。なかなか実現しません。フェリスのような小規模大学は、学部の壁をなくし、ひとつの学部で運営することで、できることが大きく広がると考えています。学生は多様な分野を学びながら、自分のコアな領域を絞り込み、更に深めることができます。

在学生の学びはどのように変化するのででしょうか。不安に感じている人もいます。

学部長 現在のカリキュラムは引き続き保ち、すべての学生が卒業するまで学部は存在します。履修書にも、現在の学部学科を書くだけで、何も変化はありません。ですので、不安に思わなくて大丈夫ですよ。新旧カリキュラムを重ねて運営しますから、在学生も新科目を履修できます。国際ビジネス、共生コミュニケーションなどの分野が増え、新しい先生も加わるので、ぜひ学びを広げてほしいと思います。もちろん履修した科目は卒業要件単位になります。

在学生の学部・学科はそのまま。変わらず学び続けられます。心配無用です。



## Ferris Passage

— 先輩が歩む道 —



フェリスを卒業した先輩の、学生時代から仕事に就くまでのストーリーとこれからの目標をインタビューしました。フェリス生の励みになりますように。

学生時代

2006  
～2010

## こんな学生だった!



とにかく音楽業界で働きたかったので、音楽関係のアルバイトやボランティアには積極的に参加しました。コンサートホールの案内スタッフ、楽屋口の受付、音楽祭の運営、オーケストラでのチラシ挟み込み、事務局でのアルバイトなどあらゆることにチャレンジする中で、自分に向いている仕事を絞ることができました。

入社

2010

## 社会人になって苦労したこと

(公社)日本演奏連盟事務局職員を経てコンサート制作やマネジメント業を行うフリーランスに転換した頃は、仕事も収入も安定せず苦労しました。仕事の金額設定の仕方もわからず、業務量と報酬額が見合わないこともありました。また、イベントは夜間や土日開催も多いですし、海外案件では昼夜逆転することもあり、不規則な生活の中で体調管理が大変でした。

## ターニングポイントとなった出来事

自分の裁量で仕事ができるフリーランスの働き方は好きでしたが、シングルマザーとして子どもを育てることをきっかけに、保育園の時間に合わせて働ける現在の仕事に就きました。子どもと向き合う時間を作るように働き方を大きく変えました。

## お仕事で印象的だったエピソード

興味も研究対象も様々な音楽芸術学科の学生が、みんなで参加できるイベントを作ることが学生時代からの夢でした。それがついに『Ferris Music Festival』(2024年8月3日開催)という形で実現できました!バンドミュージック、クラシック、ハイテクな映像&アート作品など、音芸らしい“何でもアリ”のお祭りです。キャンパス中が音楽で溢れ、たくさんの笑顔が咲いた夢のような一日でした。



## これからの目標

現在

2025

「仕事」とは社会を良くするために自分に与えられた役割だと思っています。私は音楽という素晴らしいアイテムを与えていただいたので、音楽を通して社会のためにできることを常に模索し続けています。これからもフェリスで、学生・卒業生・教職員・フェリスを好きでいてくださる全ての皆さまに対して、音楽によって少しでも人生を彩るお手伝いができれば、それ以上に嬉しいことはありません。



## 大好きな音楽を仕事に。 音楽を通して 社会に貢献したい

## \*Profile

フェリス女学院大学 演奏会室

ながさわ あや  
長澤 彩 さん

2009年度 音楽学部 音楽芸術学科 卒業

音楽学部が主催するコンサートやイベントの企画・制作・運営が主な仕事です。学部の会議で決定した企画について、実務的な作業を担い、コンサート当日は現場責任者としてお客様の対応にあたっています。そのほか、フェリスホールの管理や、音楽学部のSNS運用、学生が学外の演奏イベントに出演する際のサポートなども行なっています。一年中イベントを行っているので、フェリスで一番アクティブで賑やかな部署かもしれません。



学生の皆さんへ

Message for you

「好き」を仕事にするには強い意志と努力が不可欠。  
そしてたくさんの武器を身につけて、しなやかに生き抜いてください!



## 退職する先生からのメッセージ

2024年度末で、退職される先生からコメントをいただきました。  
長年のご指導を、ありがとうございました。



文学部 コミュニケーション学科

諸橋 泰樹 教授

### Profile.

1999年文学部日本文学科  
助教授として着任。メディア、  
ジェンダー、調査法などを担  
当。若者文化や女性政策、  
平和の問題などに詳しい。



## Hello, Goodbye

このたび、長らくお世話になった本学を「卒業」します。

この間、2001年9月11日に米国同時多発テロ、2011年3月11日に東日本大震災と、世界や日本を揺るがす出来事に遭遇。親の介護と看取りも体験して、人間や社会を対象とする研究者として「苦悩」することが増した40代～60代でした。フェリスとともにあることで、その「苦悩の思索」が自身の人生に資することができたと思っています。ただ、「若いうちの苦労は買ってでもしろ」と言われますが、たとえ若くなくてもこのような「悲しいこと」はもう2度とゴメンです(笑)。

これからは、知的好奇心の赴くまま、「楽しいこと」だけを追い求めて行くつもりです。有難うございました。



メディアリテラシーとジェンダー  
—構成された情報とつくられる性の  
イメージ—

- 2009年6月、256頁
- 現代書館 2,420円(税込)
- 諸橋 泰樹(著)



「戦後時代」の夕焼けの中で  
—ポピュリズムとルサンチマンの  
同時代を読む—

- 2009年9月、264頁
- 現代書館 2,420円(税込)
- 諸橋 泰樹(著)

## 学生課 Column

### ▶ Ferris Festival 2024 開催レポート ◀

2024年度の大学祭は、地域に根付く本学だからこそ、来場された方や協力して下さる皆さまへ感謝の気持ちを込めて、「花束を贈るときのように、お互いが幸せな気持ちになれる大学祭にしたい」という思いから、「Bouquet」というテーマで開催しました。

正門に設けたバルーンアーチ前では、多くの方が写真撮影を楽しみ、思い出のひとつを刻んでいました。今年初の試みとなったキッチンカーは、クレープなどのスイーツ系からハワイアンフードまで多彩なメニューが揃えられ、大変な賑わいとなりました。そのほか、参加団体による工夫を凝らした作品やパフォーマンスの数々も、多くの方に楽しんでいただく素晴らしい機会となりました。

(大学祭実行委員 広報担当)

### Ferris Awards結果

- 飲食部門:留学生会(ベトナム料理“バインミー”の販売)
- 展示部門:国際協力団体Keep The Smile(海外等での活動内容の展示、フェアトレード商品の販売)
- ステージ発表部門:girls hip hop club Honeys(K-POP等のダンス発表)
- 音楽部門:かわバン!(音楽芸術学科、ポピュラー音楽ゼミの3・4年生によるバンド演奏)

スナップで振り返る  
大学祭レポート▶



# フェリス生、頑張っています!

Vol.14

学内で活動している人や、団体を紹介します!

「フェリスチャレンジ制度」とは、大学生活で学び得たことをもとに学生が発案し、仲間とともにチャレンジする活動を支援するプログラムです。企画～実施～報告(振り返り)まで、すべて学生のみで行います。予算や進捗の管理はもちろん、計画どおりに進まなかった場合の対処などを仲間と学ぶことができます。採用された企画には、大学から援助金(1プロジェクトあたり上限25万円)を給付しています。

詳細はこちらを  
Check



## フェリスチャレンジ制度 2024年度採択プロジェクト

活動期間:2024年7月下旬～2025年1月末

### Project

#### コーヒー・チェリーのお茶「カスカラティー」の マーケティング調査を通じた 生産者支援・熱帯林保全プロジェクト

きっかけは、海外エコツーリズム実習でインドネシアのエシカルカフェを訪れた際、現地の方の資源を無駄にしない生活に感銘を受けたことに始まります。私たちは廃棄されるコーヒーの副産物「カスカラ」を活用し、環境に優しく持続可能な方法で新たな価値を生み出せると思い、このプロジェクトを考えました。インドネシアからカスカラを仕入れ、日本で販売することでその認知度を高め、持続可能なビジネスを構築することを目指しています。

具体的な活動としては、11月の大学祭で試飲イベントと販売を行いました。その他、緑園都市にあるカフェ「A.cafe」様にご協力いただき、カスカラを使用したコラボメニューを試作し、12月に販売しました。また、伊藤園様の商品開発部の方々とミーティングを行い、商品化の相談をしています。



大学祭での展示・試飲イベントの様子

#### 【代表者】

メンバー  
構成

国際交流学部 2年 Yさん  
他 国際交流学部  
3年2名、2年2名 計5名

Check/

海外エコ  
ツーリズム実習



### Project

#### For Others

#### ～新しい自分と出会える場所～

学生会など様々な学内活動をしている中で、もっとフェリスのことを高校生に知ってほしいという思いが強くなり、応募しました。

このプロジェクトの目的は、高校生にフェリスを知ってもらうためのきっかけ作りを学内コンサートや高校、塾訪問を通して行うことです。具体的には学生の目線でフェリスの良さをSNSで発信したり、高校生が実際にキャンパスに来て雰囲気を感じてもらえるように学内でコンサートの開催を企画しています。

現在は高校・塾の訪問先へのアポ取りやコンサートの曲目をメンバーで出し合い、コンサートの曲目決め、会場レイアウトなど調整をしています。学内コンサート開催までにオリジナルフェリスグッズの制作も予定しており、このプロジェクトの活動の様子もSNSで発信する予定です。



メンバー  
構成

#### 【代表者】

音楽学部 4年 Sさん  
他 文学部4年1名、3年1名  
国際交流学部4年1名  
音楽学部3年2名、2年1名 計7名

Check/  
Instagram



# フェリス生に聞いてみた



[みんなで楽しむアンケート]

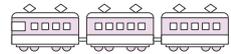


今号のテーマ

## フェリス生の一人暮らしに役立つおすすめ情報を教えて!



一人暮らしを考えているフェリス生に、  
おすすめしたいエリアや駅はどこ?



NO.1

【 二俣川 】

理由 交通面が良く、好立地に商業施設もある。

NO.2

【 東戸塚 】

理由 横浜駅まで8分で行けるし、学校までもバス1本20分程で行ける。

【 湘南台 】

理由 小田急線やブルーラインも通っているため、横浜駅はもちろん都内にも出やすい。

その他 /

いずみ中央(区役所が近くて手続きが楽。緑園都市やゆめが丘にあるソラトスも近いので、横浜に出なくても楽しめそう) / 星川(駅の高架下のお店が充実していて、きれい。近くにイオンもあり生活しやすい) / ゆめが丘(新しくソラトスもできてすぐ住みやすそう) / 日吉(緑園都市に直通で行ける! 横浜や渋谷への接続もよい) / 石川町(元町エリアは観光地が近いが、スーパーやドラッグストアなど日常的に買い物ができる場所もある) / 大和(シリウスという大きい図書館の漫画コーナーが魅力的) / 相原(フェリスからは遠く特に何も無いが、空気が澄んでいる!)



一人暮らしの経験がある  
フェリス生の失敗&アドバイス



音楽学部 2年  
Tさん  
部屋にクモなど虫が出た時に、捕獲できるような蓋付きの透明カップを用意しておくといいですよ。



音楽研究科 1年  
Tさん  
フライパンなどの日用品を安い物で揃えたのですがすぐに壊れてしまったことが…。日用品はちゃんとしたものを購入する方がお得です!



文学部 1年  
Oさん  
ゴミ捨ての時間が決まっているので、捨て損ねてしまうのが悩み…。入居時にゴミ捨ての日時のチェックも忘れずに!

\* 回答していただいたみなさん、ありがとうございました! \*

この企画はフェリス生同士の交流が目的です!  
この場を借りて、みんなに主張したいことや、周りのフェリス生に聞いてみたいこと、ありませんか?

参加は  
**2 STEP**  
で完了!

【STEP1】裏表紙の「次号のテーマ」をCheckして、  
【STEP2】QRコードからアンケートに回答!

取りあげてほしいテーマや質問も受付中!  
フェリス生同士の交流の場として、ぜひご参加ください。

## フェリス生に聞いてみた

次号のテーマ

「キャンパス近くにあるおすすめのご飯屋さんを教えて！」

投票期間

2025年1月9日(木)～5月15日(木)

次号では、緑園・山手キャンパス近くにある、フェリス生おすすめのご飯屋さんを紹介します。お昼ご飯や授業後のお茶タイムなどで利用しているお店を教えてください。みなさんからの投稿をお待ちしています♪

取りあげてほしいテーマや質問も受付中!

この企画で、みんなに主張したいことや、周りのフェリス生にも聞いてみたいこと、ありませんか? フェリス生同士の交流の場としての「F」に、ぜひ参加してください。



アンケートの回答は右記QRコードから!



フェリス検定

1965年に大学が開設されたとき、文学部には2つの学科がありました。何学科があったでしょうか。

- A 英文学科・歴史学科
- B 英文学科・国文学科
- C 国文学科・音楽学科

Answerは、p7の下にあるよ!

## 学長 Column



学長 小檜山 ルイ

### 着るものの悩み

学長になっているとまどうことがあります。そのうちの一つが「着るもの」です。

若い頃から「コムデギャルソン」とか「Y's」など、どちらかというところ奇抜な服を着てきました。最近は、もっぱら「ヨーガンルール」で、ややおばさん系にシフトしましたが、それでも、ちょっと変わったものが好み。

大学教員としては、それは、問題ないと思っておりました。学生たちに「オシャレ」と言われて喜んだり、ピアスをどこで買ったか聞かれて、教えてあげたり。学会にもその調子で行って、「小檜山さんて、変わった服着てるね」などとコメントされたりしました。ところが、学長となってみて、ワードローブを点検する…といっても、一部屋が服で埋まっているところをひっくり返すわけですが…どうも「学長らしい」服が皆無。スーツというものをほとんど着たことがないので、レパートリーがありません。男社会の制服を着て、男社会の一員みたいに仮装するのは私らしくない、とも思うわけです。

それでも、先日、デパートの男性服売り場の一角で、一着買ってしまった。男社会の圧力に屈したのかもしれませんが、毎回服で悩む手間を省けるかもしれないという期待があります。ジャケットの中だけ変えれば良いのは案外便利かもしれませんが、結局、気に入らず、放置されるかもしれないけれど、とにかく一着だけ。

こうやって、男性社会のルールに馴染んでいくのかなあ、と物思いにふける秋です。

10月 記



Vol.128  
2025 Winter

“F”はFerris, For Othersを表すFであるとともに、もうひとつFind(=発見)という意味を込めています。この冊子でお伝えする情報がみなさんの行動のきっかけになり、新しい自分の“発見”につながりますように。

2025.1.9発行  
発行／フェリス女学院大学  
編集／学生課  
〒245-8650 神奈川県横浜市泉区緑園4-5-3  
TEL:045-812-9127

